


# はは歯クラブだより



NO. 210

こんにちは！  医療法人  
ゆきなり小児・矯正歯科です。もう  
すぐ卒園式ですね。  
今回は、『かみ合わせが逆、反対咬合』について  
少しお話します。

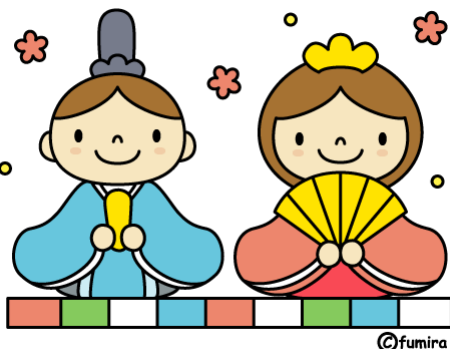


下の歯が上の  
歯より前に出  
ている受け口（反  
対咬合）のお子

さんは3歳児健診で4～5%の割合で見  
つかります。「適切な時期に、短期間で  
治療する」のが理想ですが、本人の成長  
が深くかかわっており、矯正治療が長期  
にわたることもあります。治療を始める

時期が遅くなると、反対咬合の程度がひどくなる傾向もあります。就寝  
時のみの使用で、目的を達成することができる矯正装置（ムーシールド）  
があります。1年間をめどに使って頂きます。また、その後は、定期  
的に健診を継続していく事が重要です。ムーシールドは本人が積極  
的に使用しないと、効果は望めませんし、永久歯が生えて矯正治療が必要  
になる場合も、もちろんあります。しかし、効果が現れない場合でも反  
対咬合の原因の一つでもある舌の位置の異常を改善することもできます  
ので、無駄にはなりません。

前歯が永久歯に生え代わっても「かみ合わせが逆」になった場合には  
専門医できちんと検査、分析をして症状に  
見合った時期に治療を開始してください。



詳しくはホームページをご覧ください。  
「ゆきなり」で検索すると簡単です。  
＜文責：小児歯科専門医行成哲弘＞